

○四日市港管理組合管理者（知事）コメント

本日、国土交通省は令和2年度予算について公表し、四日市港霞ヶ浦地区に係る事業化検証調査費（1億円）が予算化されましたことは、新たな岸壁整備の事業が明らかに射程に入り、一步前進したものとして喜ばしく思っております。

昨年9月に設立された「四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会」の皆さんと一丸となって、私自身も新たな耐震強化岸壁の新規事業化を求める地域の声や、四日市港が描く未来を強く何度も何度も国に伝えたことが、今回の予算化につながったものと思います。

県選出をはじめとする国会議員や国土交通省など関係者の方々、「進める会」で熱心に活動していただいている四日市商工会議所をはじめとした会員企業の方々など、関わったすべての皆様に感謝申し上げます。

南海トラフ巨大地震が切迫しているなか、防災・減災対策の取組を一層推進する四日市港にとって、新たな耐震強化岸壁の整備は「待ったなし！」です。

引き続き、「進める会」を中心に官民が一丸となって、新規事業として採択されるよう全力で取り組んでまいります。

令和2年3月31日 四日市港管理組合管理者 三重県知事 鈴木 英敬